



侵略戦争を
美化し
くらし破壊
すすめる

安倍政権と一体の森田県政と県議会 告発し続けてきた丸山慎一県議

2014年
総選挙

日本共産党
21議席に躍進し

本格的な「自共対決」に

先の総選挙で安倍暴走政治に正面から対決した日本共産党が躍進し、本格的な「自共対決」の到来です。日本共産党は通常国会の冒頭に、政党助成法廃止法案を提出しました。現実の政治を一步でも二歩でも動かしていきます。



なくてはならない
丸山県議の議席

日本共産党委員長、衆議院議員
志位和夫

「丸さんといいますと、困りごとがあればどんな問題でも相談に駆けつける行動力、調査でも提案でも県議会をリードする論戦力、そして誰からも愛される気さくな人柄と三拍子揃った議員で、船橋市民にとっても県議会にとっても絶対なくてはならない政治家が丸山慎一さんです。」

昨年10月 船橋市民文化ホールでの演説会より

集団的自衛権 → 憲法9条壊す

「集団的自衛権は、国において適切に判断すべきもの」と何ら異議を唱えない森田知事。丸山県議は「憲法9条によって培われてきた他国からの信頼を壊すことではなく、信頼を活かして平和外交の先頭にたつこと」を要求。(2014.6議会)

消費税の増税についても、「必要な財源」とし、県民の暮らしの悲鳴は知事に届いていません。



巨大開発 → 破たんのツケは県民に

6531億円を投入した千葉ニュータウン。残っている土地が全て売れても「670億円の赤字が残る」。4000億円投資した幕張新都心も「800億円回収できない(赤字!)」

無謀な巨大開発は、つくる時にも莫大な公金が投入され、失敗すればさらなる税金投入が行なわれます。過去から学ばず、過ちを繰り返し、失敗のツケはすべて県民にしわ寄せをする。こうした決算に賛成できるはずがありません。…昨年12月の決算討論。

母子無理心中 → 「福祉」が命を奪う!

県営住宅の家賃が払えず退去を求められた母子が無理心中。“最大の責任は、最大8割まで家賃を軽減する制度がありながら摘要せず放置した”と議会で追及した丸山県議。

その後、国交省は生活に困窮する公営住宅居住者に家賃の減免を徹底するよう都道府県に通知しました。

「母子心中事件の現地調査団」の集会で報告する丸山県議 2015.1.19



千葉県を動かしてきました 県民と力をあわせ

① 子ども医療費助成を通院は小学3年、入院は中学3年まで拡大。
市が上乘せし船橋でも通院で中3まで助成

② 特養ホームの建設補助金。1床250万円を400万円に。(※来年度は、450万円に)
特養ホーム待機者は県で1万9000人

③ 私学助成のピンハネがやめさせ、県独自の上乘せで全国平均を超える。
私立高校の助成は年33万2502円に

